

国立大学法人宮崎大学教育研究評議会（平成22年度第1回）議事要旨

日時 平成22年4月26日（木）13:00～:14:53
場所 事務局大会議室
出席者 菅沼学長、中山理事、原田理事、池ノ上理事、白石理事、菊地副学長、
村岡副学長
教育文化学部：兒玉学部長、入谷教授、宇田教育学研究科長
医学部：迫田学部長、浅田教授、工学部：大坪学部長、中澤教授
農学部：川村学部長、藪谷農学工学総合研究科長
福田産学連携センター長、林フロンティア科学実験総合センター長、境共通教育部長
欠席者 村上教授

議事に先立ち、新たに教育研究評議会の構成員となった池ノ上理事・迫田医部長、境共通教育部長、新たにオブザーバーとなった高山監事から挨拶があった。

引き続き、異動のあった事務系幹部職員から挨拶があった。

1. 前回議事要旨の確認

【配付資料1】により、平成21年度第11回教育研究評議会の議事要旨の確認があり、原案どおり承認された。

2. 議題

(1) 教員公募計画について

教育学研究科長及び医学部長から、【配付資料2】により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 宮崎大学遺伝子組換え生物等の第一種使用等に関する安全管理規程（案）等の制定について

中山理事から、【配付資料3】により、本学における遺伝子組換え生物の第一種使用等、特に遺伝子組換え作物の開放系栽培を適切に規制するために関係規程を制定する旨説明があった。

また、学術研究協力部長から、「宮崎大学遺伝子組換え生物等の第一種使用等に関する安全管理規程（案）」、「同安全管理細則（案）」、及び「同安全委員会規程（案）」について説明があり、審議の結果、安全管理細則別図1（第2条第2項関係）の申請・承認手続き等のフロー図を一部修正することで、承認された。

(3) 産学連携センター規則の一部改正（案）について

産学連携センター長から、【配付資料4】により、アジア地下水砒素汚染対策研究部門の業務が国際連携センターに移行したことに伴い、規則を一部改正する旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

その他、入谷評議員から、大学全体の教育研究の運営に対する意見が以下のとおりあった。

- ・ 3月の教育研究評議会において、会議次第と資料の通知が会議前日にあったが、構成員として事前に議題等を十分把握して会議に臨むという趣旨からすると、会議の数日前には各構成員に通知してもらいたい。
- ・ 会議・委員会の次第、議事録及び資料について、大学ホームページ上に掲載されていないものや、掲載済みの議事録についても簡略化し過ぎたものがあり、内容が分からないものが見受けられるので、個人情報等を除いて確実に掲載してもらいたい。
- ・ 学務情報システムについて、シラバス作成や科目登録について利用しにくいシステムとなっている。また、4月から導入したパソコン必携化についても、様々な問題が発生しているので、どのような課題があるのか早急に整理し、対策の検討をお願いしたい。
- ・ 出張旅費システムについて、度々システム運用を休止しての改修が行われているようであるが、問題点を整理して対策を講じてもらいたい。

以上の意見に対して

学長から、会議等の議事録関係については、調査することとし、出張旅費システムについては、随時対応しているのでご理解願いたい旨説明があった。

また、原田理事より、学務情報システムについては、各学部からの意見等を踏まえ、学務部でその都度修正を加えながら運用している。大学教育員会等の学務関係の議事録等については、担当部署に更新するよう指示している。パソコン必携化に関しては、ワーキンググループを立ち上げ課題を検討してきたので、特に大きな問題はないと考えている旨の説明があった。

3. 報告事項

(1) 第2期中期目標・中期計画及び平成22年度計画について

菊地副学長から、【配付資料5】により、第2期中期目標・中期計画の提示・認可があり、平成22年度計画を届出したこと、組織及び業務全般の見直しなどについて各統括体制及び各部局等へ通知した内容について報告があった。

(2) 国立大学法人の在り方に係る検証における意見聴取について

白石理事から、【配付資料6】により、国立大学法人の在り方に関する調査について、役員会構成メンバー等で整理・検討し、文部科学省に提出した旨報告があった。

(3) 梅田学園との協定書締結について

企画総務部長から、【配付資料7】により、交通安全推進及び学生サークル活動支援のために、それぞれが保有する機能やサービスの提供を目的とする協定を締結した旨報告があった。

(4) 宮崎大学学務規則の一部改正について

企画総務部長から、【配付資料8】により、前回指摘された附則第6項の医科学看護学研究科の表記を修正したこと、また確認事項となっていた附則第9項の医学系研究科博士課程の収容定員については、現専攻への改組が20年度に行われており、20・21年度の入学定員を合わせて40人（22年度医学獣医学総合研究科設置）となることから修正の必要はない旨説明があった。

(5) ティーチング・アシスタント実施要項及びリサーチ・アシスタント実施要項の制定について

原田理事から、【配付資料9】により、ティーチングアシスタント及びリサーチアシスタントの目的、身分及び職務内容並びに採用手続き等について、全学的な指針・方針を明確にするため、大学教育委員会で審議し、実施要項として制定した旨報告があった。

(6) 平成22年度国公立大学を通じた大学教育改革の支援プログラムについて

原田理事から、【配付資料10】により、大学教育改革支援プログラムのスケジュール及び採択状況について報告があった。

(7) 平成22年度入学試験実施状況について

村岡副学長から、【配付資料11】により、平成22年度の実施状況について報告があり、4学部ともに入学定員の110パーセント未満となっていること等の報告があった。

(8) 平成22～23年度重点的協定校について

学術研究協力部長から、【配付資料12】により、平成22～23年度の重点的協定校を資料のとおり7大学とする旨報告があった。

(9) 平成21年度共同・受託研究受入状況について

産学連携センター長から、【配付資料13】により、平成21年度の受入件数・金額等について報告があった。

(10) 平成21年度発明届出への対応状況について

産学連携センター長から、【配付資料14】により、平成21年度の届出・出願状況等について報告があった。

(11) 平成22年度科学研究費補助金申請・採択状況について

学術研究協力部長から、【配付資料15】により、内定状況について報告があった。

(12) 女性研究者支援モデル育成事業について

学術研究協力部長から、【席上配付資料】により、平成21年度の同事業の実施状況について報告があった。

(13) 第38回宮崎大学イブニングセミナーの開催について

学術研究協力部長から、【配付資料16】により、5月13日（木）に開催される第38回宮崎大学イブニングセミナーの報告があった。

(14) 緊急地震速報について

施設環境部長から、【配付資料17】により、木花キャンパスに緊急地震速報受信ユニットを設置した旨報告があった。

(15) エネルギー使用量について

施設環境部長から、【配付資料18】によりエネルギー使用量実績及び附属図書館太陽光発電設備による発電電力量について報告があった。

また、省エネ化について、既に事務局4階大会議室並びに大学会館内掲示板前の2箇所についてはLED電球に変更しており、各学部においても導入希望の場合は施設環境部まで連絡願いたい旨報告があった。

(16) 全国86国立大学法人の施設管理、図書館運營業務等について

学長から、【配付資料19】により、産経新聞に掲載されているランキングについて、複数年契約と競争入札等の状況のみで単純に数値化されているものであり、必ずしも現状を反映したものではないこと、また今後は社会的責任も果たす意味で、これらの事項について検討していかねばならない旨報告があった。

(17) 各学部等の動向報告について

教育文化学部長、教育学研究科長、医学部長、工学部長、農学部長、農学工学総合研究科長、医学部附属病院長、附属図書館長、共通教育部長、産学連携センター長、フロンティア科学実験総合センター長、教育研究・地域連携センター長、国際連携センター長、から席上配付資料により各学部等の報告があった。

4. その他

(1) クールビズ推進ポロシャツの制作について

企画総務部長から、【席上配付資料】により、若手職員と生協とのタイアップ企画で地球温暖化防止やエコに対する意識の向上のため、オリジナルポロシャツを制作・販売する旨報告があった。

(2) 次回教育研究評議会の開催について

学長から、次回の教育研究評議会は5月13日（木）13時00分を予定している旨報告があった。